

あんな惨いこと
2度と繰り返しては
いけない





1945年
(昭和20年)
鹿児島県知覧町
(現・南九州市)



現在日本は
大東亜戦争で
アメリカとの
戦いの最中…

たくさんの
兵隊さんが
お国のために
戦っています



兵隊さんは
国を救う
神様のような
存在…

ワタシはまだ
女学生の身ですが！

そんな神様の
宿舎の清掃などを
お手伝いさせて
いただきました！

頑張ろう！

トンちゃん…
何ひとりごと
言ってるの？

置いて
行くよ！

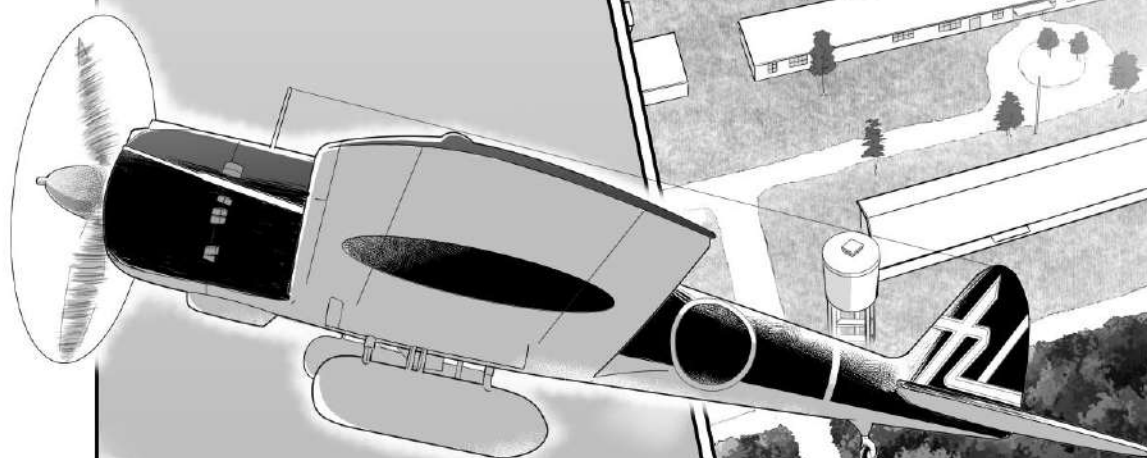
ち らんこうとうじょがっこう ねん
知覧高等女学校3年
ふく だ げんせい み やけ
福田 トミ(現姓・三宅)
さい
15歳

あっ…
ノリちゃん
みんな待って！

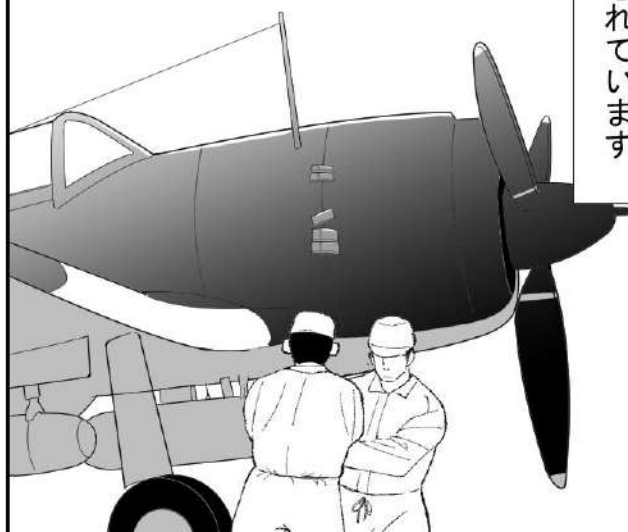
大分県陸軍
飛行学校 知覧教育隊

ちらんひこうじょう
知覧飛行場

ここには
りくぐんこうぐたい
陸軍航空隊の
ひこうじょう
飛行場があり…



しんぶたい
振武隊と呼ばれる
とっこうたい
特攻隊の方々が
かたがた
しよぞく
所属されています



航空機や魚雷などに
人を乗せたまま
敵に体当たりする
決死の特別攻撃――

それが「特攻」です



アメリカ軍の
圧倒的物量に
軍人の精神力で
対抗するため



知覧では
沖繩に迫る敵艦に
体当たりする
航空特攻が
行われています





亡なくなること
が
前提ぜんていの作戦さくせん…

航空機こうくうきに
250キロの爆弾ばくだんを
取り付けて飛び立つ…



この基地きちで
その日を
待つのです

隊員たいいんたちは
特攻出撃とくこうしゅつまでの
数日間すうじつかん



ワタシたち女学生じょがくせいは
隊員たいいんの宿舎しゆくしゃの
清掃せいそうや洗濯せんたくなど
身の回りのお手伝てつだいをする
ことになりました





隊員さんの
寂しさが少しでも
埋まりますよう



あれっ

ワタシの
下駄がない！



すみません
ワタシの下駄
見てませんか？

さあ…

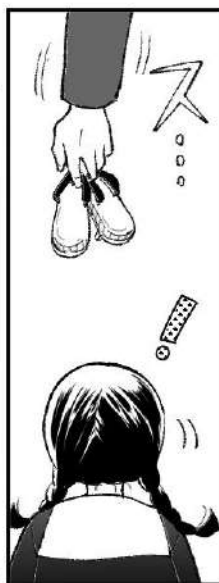


陸軍第6航空軍
振武隊



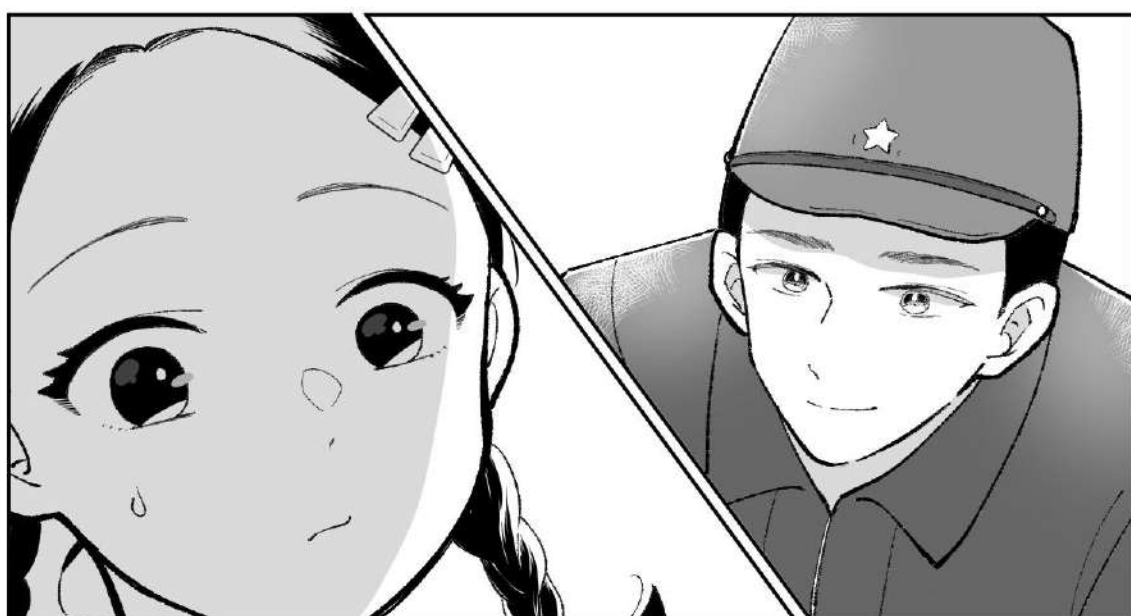
返して
くださいー！

あはは



おかしいな

どつたの？







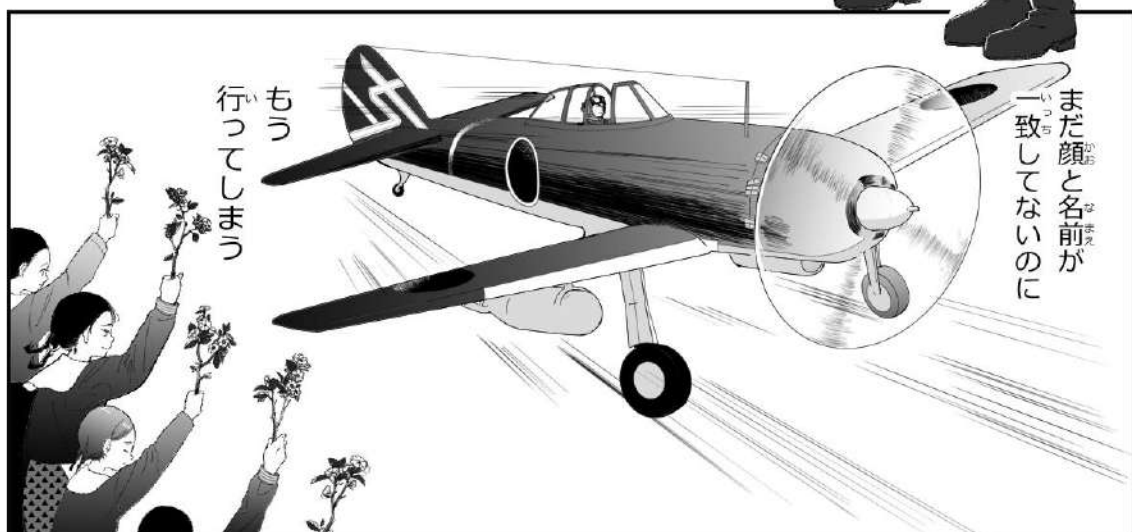


あんなに
取り乱して
いたのに……



やっぱり
今日
特攻出撃
だったんだ

昨日の方……



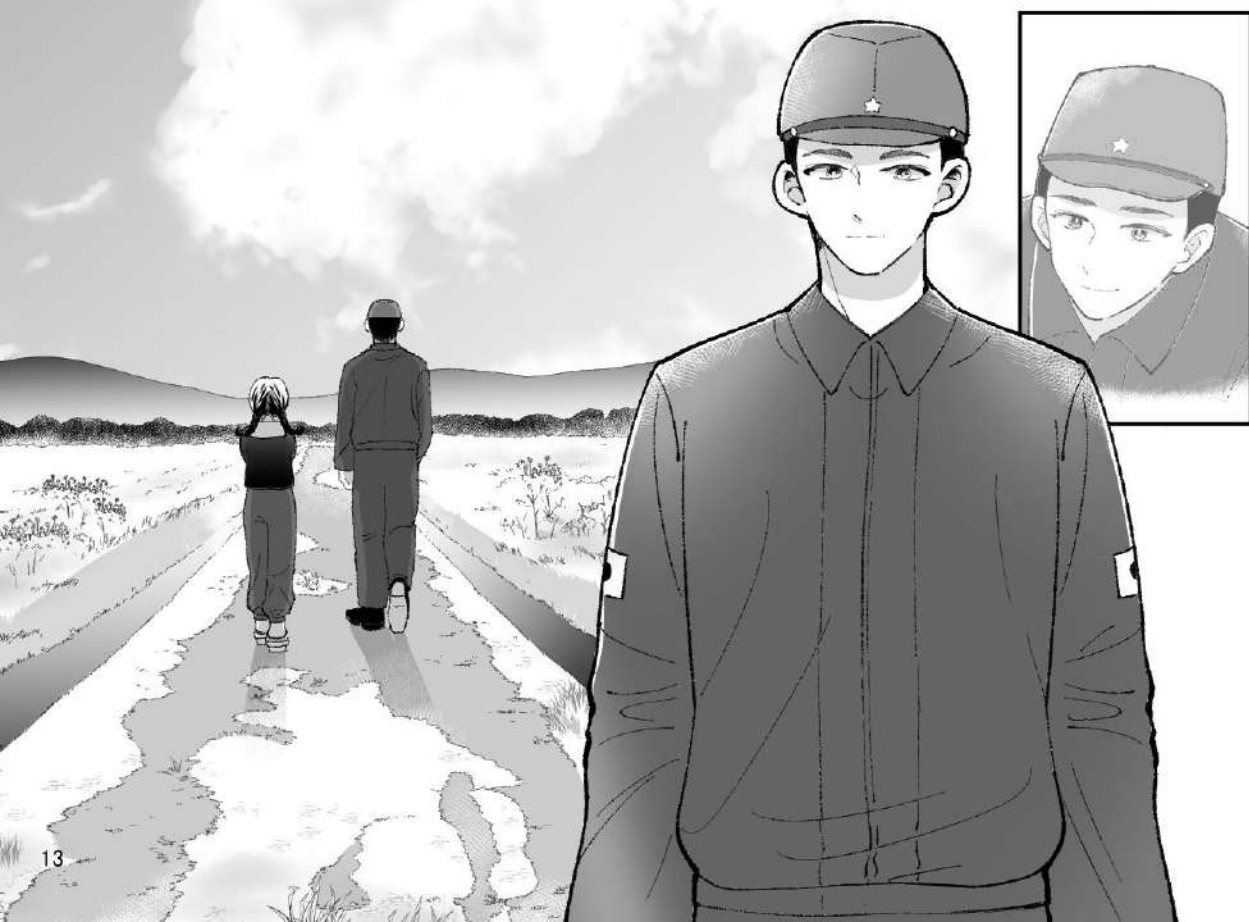
もう
行ってしまっ

まだ顔と名前が
一致してないのに



そしてもう
会えない

それがあの頃の
日常でした





わたし
私は明日
しゅつげき
出撃いたします



※靖国：靖国神社のこと。
特攻隊員たちは、死後の再会を信じて「靖国で会おう」と仲間と語り合っていた。

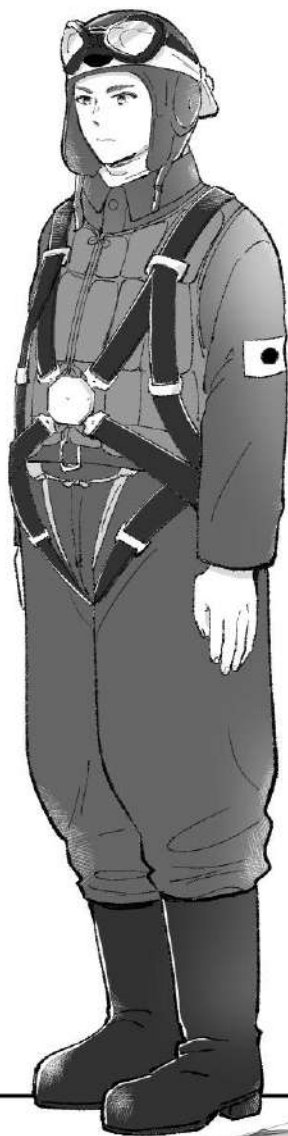
草に伏し 幼心に
春の風 君と別れて
いつまた会える
梅か桜の咲くころ 靖国で

特攻隊員は
家族や恋人、友人に
知られることなく
出撃していきます

ワタシたちに
生きた証を
のこす方も
いるのです





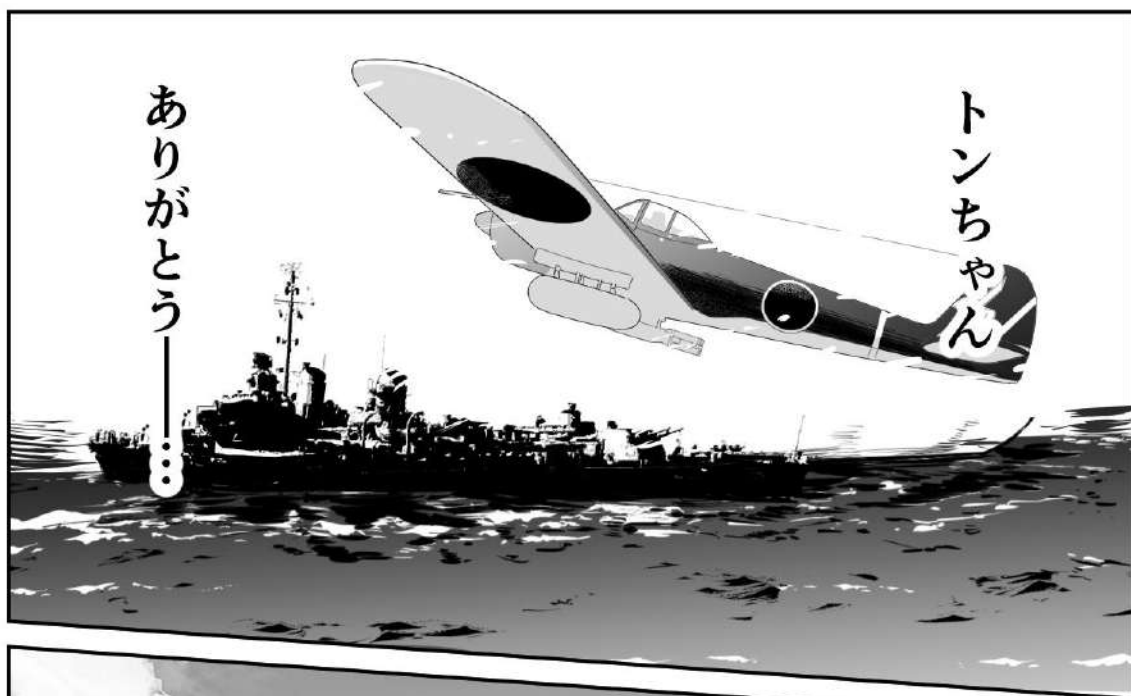






飛び立つ瞬間を
ワタシは直視
できませんでした

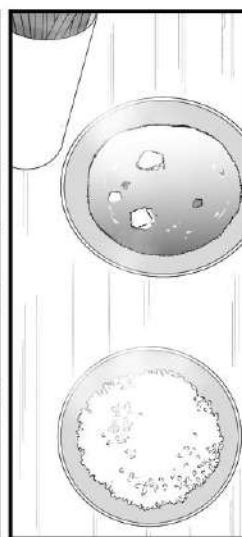






ガラガラ

おかえり
トミ



今日から
炊事班に
移動だね

特攻隊じゃなくて
他の兵隊さん用
らしいけど...

1945年
(昭和20年)
7月

…あつ

ヒタヒタ

ごめん、
ワタシ忘れ物
しちゃった

もう
待ってるから
取ってきな

早く
行かなきゃ…

トンちゃん
大丈夫かな

うん…

あった！



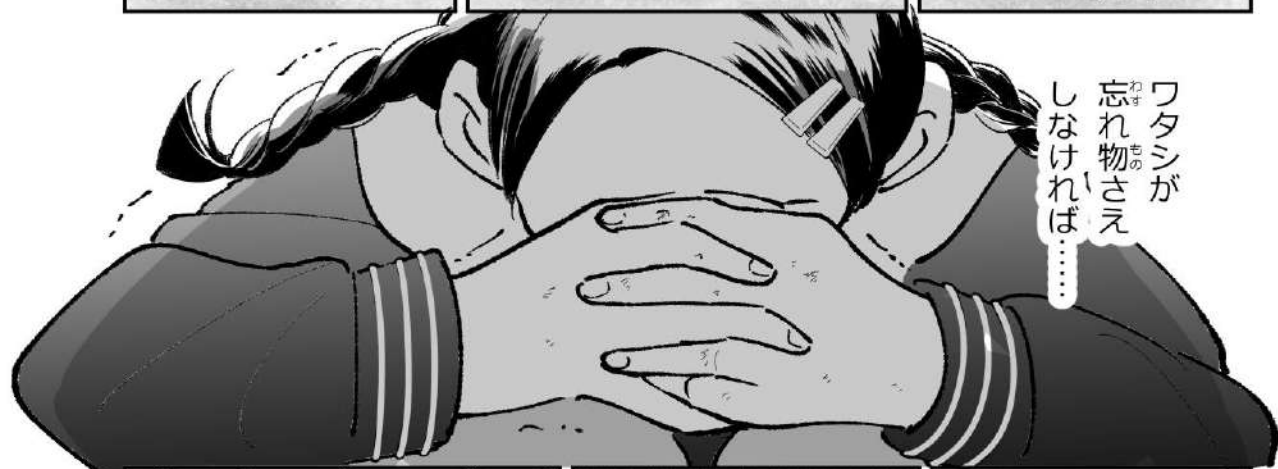
※空襲：航空機で空中から爆弾を落としたり機関銃を撃ったりして加える襲撃。

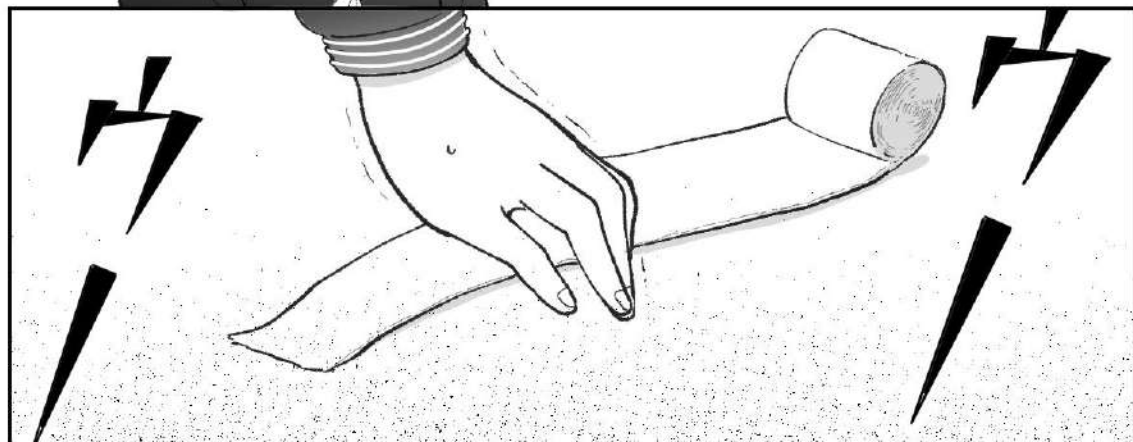


※
空襲だ！

ぼうくうこう
防空壕へ
逃げろ！





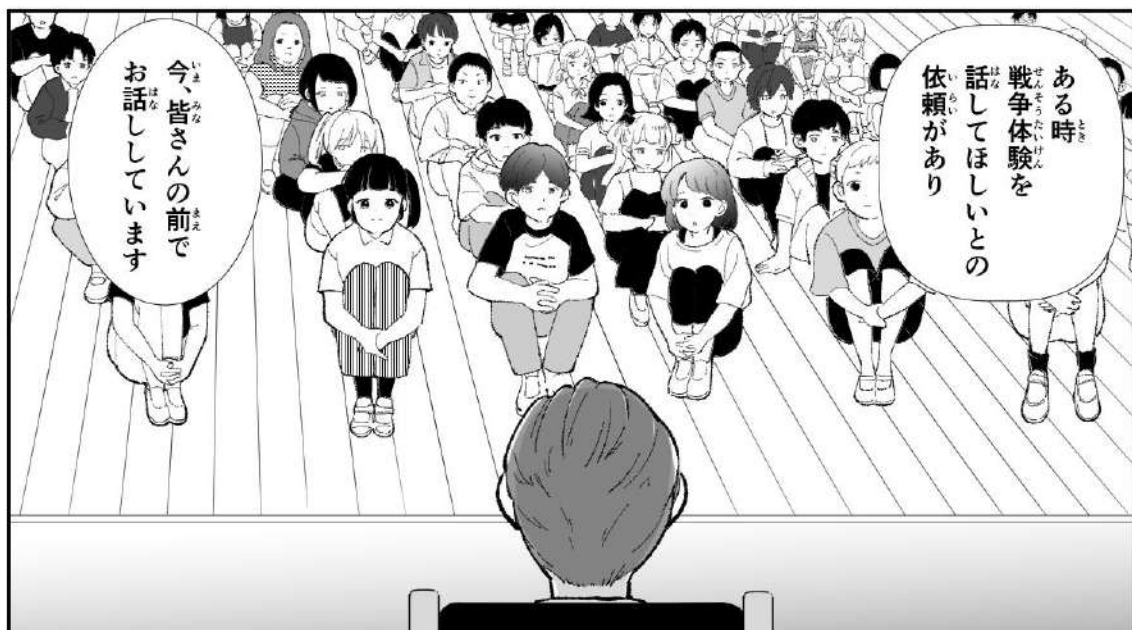






戦争は
終わったんだ！

終戦後、
特攻隊も順次
解散したそうです





「なでしこ隊」と呼ばれるようになりました



戦後、私たち女学生は校章にデザインされた花の名前を取って







その坂を走って
出撃のお見送り
しましたね

あんな悲しいこと
なかったですね…



今は
ノリちゃんも
亡くなり、

慰霊祭に参列できる
なでしこ隊も
わずか数人になって
しまいました



だからこそ
この命ある限りは
同級生たちの分も
しっかり手を合わせて

特攻に向かった
隊員の方々に祈りを
ささげたいと
思っています



僕
特攻隊の写真
見たことあるよ

かっこいいよね！

わい

私は…
特攻隊は
美談ではないと
思っています



戦争で体験した
あの惨めさは
私たちの世代で
最後にしてほしい…



私たちは
平和であればこそ
自由に遊べて
勉強もできます

平和の尊さを
改めて
感じてほしいと
私は思っています



知覧から沖縄へ
出撃した
特攻隊員は
約400名…



命をかけた攻撃…

あんな惨いこと…
2度と繰り返しては
いけないんです







わたし
私はずっとずっと
おぼ
覚えています



三宅トミさんと桑代チノさんからのメッセージ



〈三宅トミさん〉

当時は冗談を言って笑いあった翌日に、特攻に行かれた隊員の方たちもありました。あのときの表情や声を思い出すたびに、あの人たちの覚悟と無念が胸に迫り、今も記憶から離れません。

奪われた命は戻りません。残された人の涙も消えることはありません。どれだけ時間が経っても、その悲しみが消えることはないのです。だからこそ、私たちのような悲惨な戦争体験は、私たち世代だけで十分です。同じ苦しみや悲しみを、次の世代に背負わせてはいけないと思っています。

けれど見渡すと、世界のどこかで未だに戦争は続いています。遠い出来事のように見えても、その一つ一つの中に、かつて私たちが経験したのと同じ悲しみがありません。今この瞬間にも、誰かの大切な人の命が奪われ、誰かが深い悲しみの中にいます。

今の世界で起こっている戦争も、一日も早く終結することを願っています。そして、世界から戦争がなくなることを心から祈るとともに、私たちが体験した悲惨な過去が、誰かの「明日」にならないことを誰よりも強く願っています。



〈桑代チノさん〉

特攻隊員の方たちは、本当に優しい方々ばかりでした。私はその方々と接する中で、人としてのあたたかさ・揺るがない心の強さを感じました。その優しさと強さは、戦後の暮らしの中でも、ずっと私の中に残り続けています。私は、彼らの想いを子どもたちに語り続けてきました。

戦争で得るものは何ともありません。残るのは悲しみばかりです。だからこそ、これから生きる皆さんには、その現実をどうか忘れないでほしいのです。

そして特攻隊員の方々が持っていた、あの優しい心と芯のある強さが、これからの時代を生きる一人ひとりの中に、静かに受け継がれていくことを私は心から願っています。



この物語の舞台を
訪ねてみませんか？



知覧特攻平和会館

この漫画に登場した特攻隊員の方たちの遺書・遺品・写真などを保存・展示している資料館です。

「あのような悲劇を生み出す戦争を決してしてはならない」という思いから、多くのご遺族のご理解ご協力や関係者のご尽力で、出撃前に書かれた手紙や仲間との写真など一人一人の人生を伝える資料が数多く展示されています。

「特攻」を知るだけではなく、特攻隊員たちが一人の人間として何を思い、何を守ろうとしたのか。その姿に触れることが出来る場所です。

展示を見て感じたこと、考えたことに正解はありません。どう受け止めるかは、皆さん自身で感じ、考えてください。



この漫画が過去を知り、未来を考えるきっかけになれば幸いです。

知覧特攻平和会館

公式ホームページ



所在地：〒893-0302

鹿児島県南九州市知覧町郡17881番地

開館時間：9時～17時（年中無休）

サイト：<https://www.chiran-tokkou.jp>

電話番号：0993-83-2525

漫画作成にご支援頂いた方（ご支援順）

・ENISHIWORK		・キョンキョン	様
代表 石田 和美	様	・株式会社 心の力	
・水井 雅彦	様	坂部 由希子	様
・原田 千賀子	様	・田崎 貴子	様
・渡辺 いづみ	様	・中山 管一郎	様
・西牟田 章人	様	・鍋島 淳子	様
・こくらアレルギー		・西口 秀和	様
クリニック	様	・辻 直子	様
・園田 愛音	様	・ヨロコンデぶっち	様
・山内 洋子	様	・暗渠	様
・吉岡 康行	様	・樋口 賢宏	様
・下新原 崇	様	・貞岩 しずく	様
・石本 勝英	様	・谷瀬 未紀	様
・棚部 龍太	様	・吉田 由利江	様
・山本 寛	様	・埼玉県 小暮	様
・小川 博司	様	・ちょこみんつ。	
・加藤 拓	様	おみつ・あこ・ゆゆ	様
・上野 俊二	様	・森 俊雄	様
・東 涼子	様	・菅 華守民	様
・田淵 宜洋	様	・Yuchiko	様
・近藤 咲子	様	・宮武 政充	様
・Smile Peace Power	様	・nutmeg	様
・曾根原 美登里	様	・小笠原 優	様
・高田 和子	様	・ゆり	様
・澄ちゃん	様	・名嘉 季江子	様
・箕内 ちづる	様	・他 匿名の方 13 名	
・古賀 浩	様		

ありがとうございました。ご支援に感謝いたします。

〈漫画作者プロフィール〉

そやま まい

兵庫県明石市生まれ。京都精華大学カートゥーンコース卒業。

京都新聞で4コマ漫画を連載。(2015年～2017年)、2017年「漫画特攻最後のインタビュー」(扶桑社)、2020年「最後の手紙」(北九州 戦争を次世代に伝えていく会自費出版)、2021年「まんが護国神社へ行こう！」(かざひの文庫)を出版。

ホームページ

<https://4tobira.wixsite.com/soyamamai/>



〈原案者プロフィール〉

北九州 戦争を次世代に伝えていく会 代表 樺島 由彬

「漫画で先の大戦を学生や子どもに伝える」をコンセプトに、戦争体験者に聞き取り調査した資料を基に漫画化している。現在まで7冊出版。2020年「はっちゃん」の飛行兵奮闘記・「最後の手紙」2021年「シベリア抑留を生き抜いて」、2022年「皮肉な運命」、2023年「七つボタンに憧れて」、2026年「平和の約束」。2022年7月より、市民センター・小学校等で講演活動も行っている。



ホームページ



インスタグラム



Facebook

おわりに

この度は、漫画『知覧での約束を胸に ～三宅トミさんの戦争体験記～』をご覧いただき、誠にありがとうございます。今回も多くの方々に支えていただき、この一冊を完成させることができました。心より感謝申し上げます。

今から十数年前、27歳の時に何気なく立ち寄った知覧特攻平和会館。それが、私の活動の原点となりました。あの日、知覧で感じた想いは、今でも私の心に深く刻まれています。

「このような歴史を、漫画という形で子どもたちに伝えていきたい。」

その想いを胸に活動を続け、今回で作品は8作目となりました。そして8作目にして、私の活動の原点である「知覧」を舞台とした作品を制作できたことを、大変嬉しく思っています。ここに至るまでにいただいた数々のご縁に、あらためて感謝しています。

また今年は、知覧と沖縄という、戦争において深い関わりを持つ二つの地を題材とした作品づくりに、携わる機会をいただき多くのことを学びました。現地で感じたことや学んだことも、これからの活動を通して多くの方へ伝えていければと考えています。

最後になりますが、本作品の制作にあたり、素晴らしい作品を描いてくださった作者のそやま まいさんをはじめ、貴重なご助言をくださった皆様、ご支援・ご協力くださった皆様に心より感謝申し上げます。皆様のお力添えがあったからこそ、この作品を無事に完成させることができました。本当にありがとうございます。

この一冊が、一人でも多くの方に届き、戦争や平和そして命について考えるきっかけとなれば幸いです。

北九州 戦争を次世代に伝えていく会 代表 樺島 由彬

2026年8月

知覧での約束を胸に

『三宅トミさんの戦争体験談』

発 行 令和8年8月1日(初版)

原 案 北九州 戦争を次世代に伝えていく会

作 画 そやま まい

発行人 樺島 由彬

発行所 北九州 戦争を次世代に伝えていく会

E-mail

kitakyu.zisedaini@gmail.com

☎080-6423-8570

印 刷 トム出版

※ご意見、ご感想などございましたら、下記までご連絡ください。



北九州 戦争を次世代に伝えていく会

← (Website) <https://www.kitakyu-zisedaini.com/>

(Facebook) <https://www.facebook.com/jisedaini/>

(Instagram) k. zisedaini

そやま まい

(Website) <https://4tobira.wixsite.com/soyamamai> →

(X) @kyotokiwasoymama

(Instagram) soyamamai

